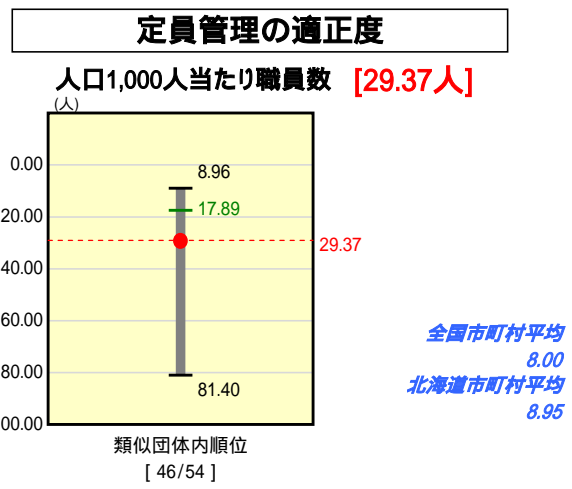
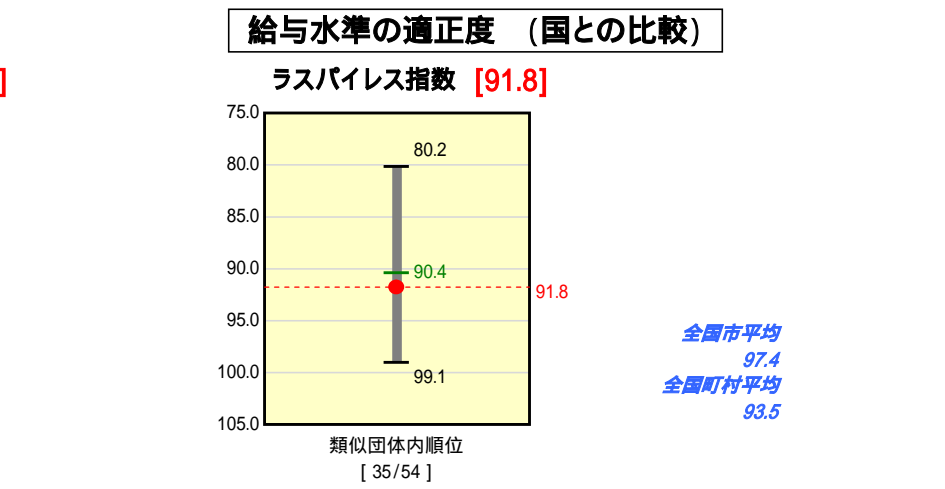
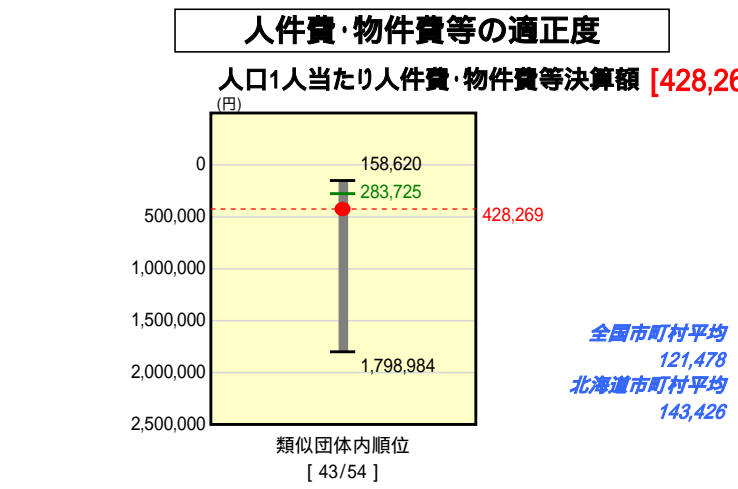
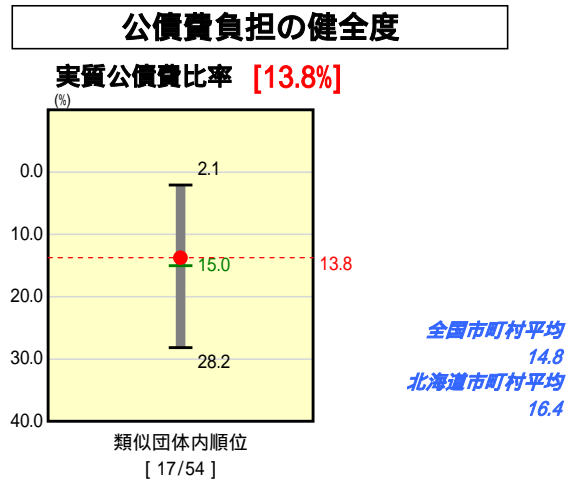
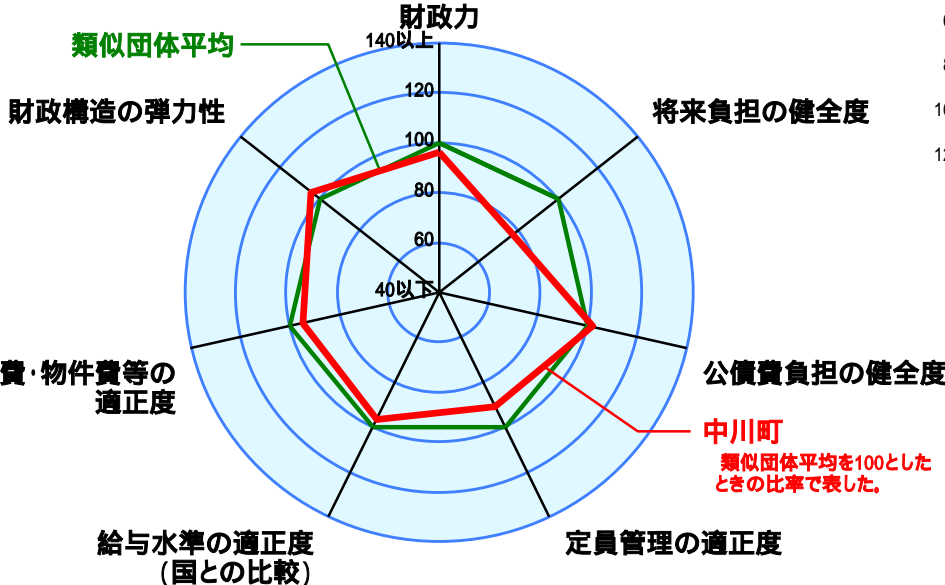
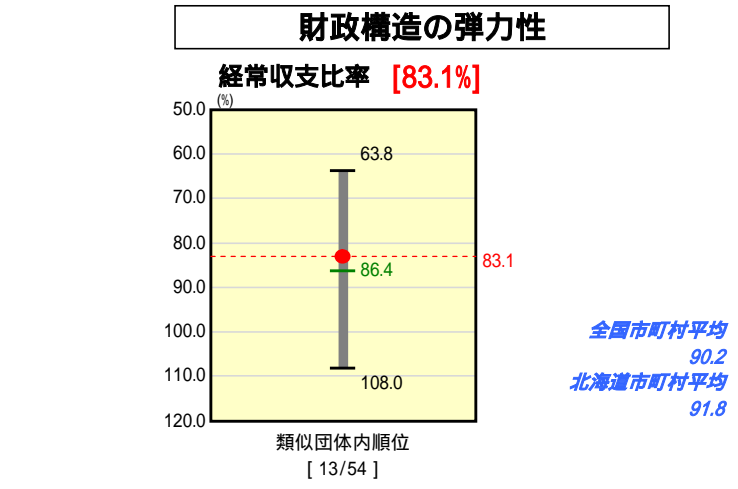
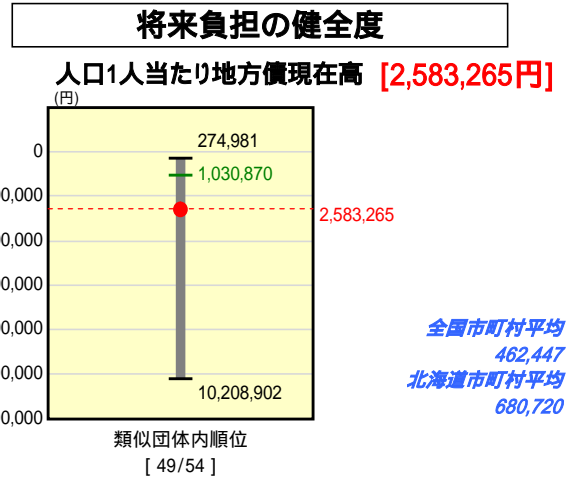
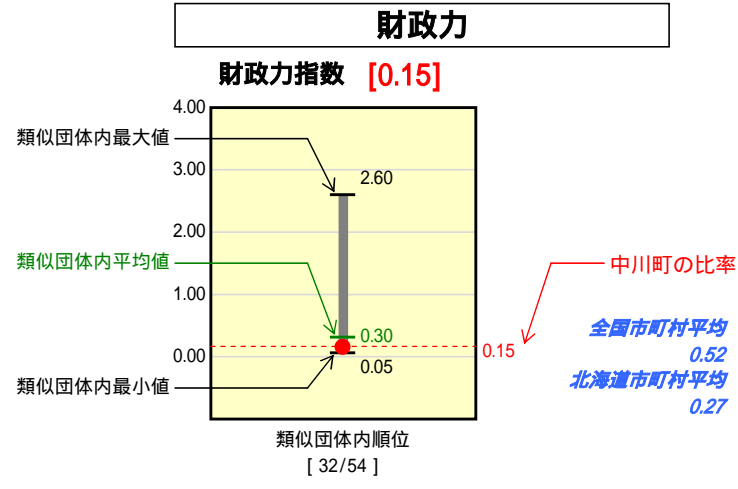


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

北海道 中川町

人口	2,077	人(H18.3.31現在)
面積	594.87	km ²
歳入総額	3,561,669	千円
歳出総額	3,555,991	千円
実質収支	5,678	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数：人口の減少や全国平均を上回る高齢化率に加え、長引く景気の低迷、基幹産業である農業の不振により、財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っている。

経常収支比率：平成17年度から取り組んでいる行財政改革に基づき、職員の退職者不補充、新規採用者の抑制、職員の給与カットの実施による人件費の削減や事務事業の見直しによる経常一般歳出の削減等、歳出全般の削減を図ったこと等により、83.1%と昨年度から4.2%低下させ類似団体平均を下回っている。今後とも、行財政改革を通じて、事務事業の見直しを更に進め、経常経費の削減と財源の確保に努める。

ラスパイレス指数：類似団体平均は若干上回っているものの、平成17年度から取り組んでいる行財政改革に基づく職員の給与カットの実施により、全国市町村平均を下回る水準となっている。

実質公債費比率：昨年度に償還ピークを迎え、平成17年度から減少に転じており、類似団体平均を下回っている。今後、緊急度・住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債に大きく頼ることのない財政運営に努める。

人口一人当たり地方債現在高：類似団体平均を大きく上回っている。主な要因としては近年続いた大型事業等の実施によって発行した地方債や平成13年度から発行している臨時財政対策債である。また、急速な人口減少も要因となっている。

人口1,000人当たり職員数：過去からの組織機構の見直し、事務事業の民間委託、平成17年度から取り組んでいる行財政改革による退職者不補充、新規採用者の抑制により、適切な定員管理に努めているが、類似団体平均を上回っている。今後とも、更なる効率化の促進を図り、より一層の適切な定員管理に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体平均は上回っているものの、従来から実施している事務事業の見直し、組織機構の見直し、平成17年度から取り組んでいる行財政改革の基づく人件費の抑制、経常経費の削減等により、類似団体の中で低い水準を維持している。今後とも、一層のコストの低減に努める。